

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 ゆうえい会	代表者	理事長 池田 繁	法人・ 事業所 の特徴	理念 「ゆっくり いっしょに たのしく」 せかしたり、おしつれたりすることなくその方に合わせた生活を支援します。 顔なじみの人たちに囲まれた家庭的な環境の中を作ります。 今までの生活習慣や想いを大切に自分らしく笑顔の多い毎日を過ごしていきましょう。
事業所名	ゆうばえの家	管理者	鷲尾 圭彦		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	0人	1人	0人	1人	2人	1人	1人	0人	7人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	より質の高いケア提供のため、利用者の今まで生活してきた生活歴過去にもフォーカスをあてて、その人らしい生活を支援する。	毎日職員が集まって申し送りと情報の共有を行った。職員間で課題、対応を共有することにより統一した対応を行えた。	コロナで事業所に立ち入ることが今までできなかったのが気なかった。今年の評価としては計画に即してやっている。	毎日の申し送りを継続する。情報を共有し、介護の標準化と個別ケアの充実をはかっていく。
B. 事業所のしつらえ・環境	コロナ対策が緩和される中で、事業所として利用者を安全にすごしていただけるよう環境での感染対策に力をいれていく。	感染症対策を引き続き実施した。換気を24時間通して行うようにしている。防犯対策で2月1日から玄関の施錠を実施。	ウェルカムボードが毎回用意しており、歓迎されていることがわかる。玄関のディスプレイが季節後に変更されていていい。	玄関、施設内のディスプレイを季節に合わせて変更する。24時間通して換気を実施する。
C. 事業所と地域のかかわり	地域にメッセージを発信できるよう、西内野小学校の行事や、介護の日等のイベント時に通学路に面しており、で交通量の多い道路側の窓に張り紙を行う。地域のイベントに参加を行う。地域の方対象にイベントを行う。	施設の窓から地域にメッセージを発信した。毎月の移動パン販売、施設企画のイベントで地域住民に参加をしていただいた。夏の花火大会で地域のイベントに参加した。	コロナ前後で地域交流の姿は変わった。今できることをしている。地域とのつながりを意識しえ運営している。	窓からのメッセージ発信を継続。地域向けのイベントパン販売等を実施。職員が地域のイベントに参加する。職員の挨拶が向上するよう意識づけを行う挨拶期間を行う。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	感染対策をおこない施設が企画したイベントに地域住民と参加することを行っていく。更に地域のイベントに参加することを行っていきたい。	10月に社協の協力でジェラードの配布のイベントを行った。花火大会の参加を行った。	運営推進会議で外部の方を交えた会議を実施している。利用者が地域の花火大会に参加した。	施設外で活動できるイベントを実施する。利用者が地域のイベントに参加する。
E. 運営推進会議を活かした取組み	開催が安全にできると判断したら対面による開催を再開。それまでは、文章開催を継続していく。対面での開催を1回は行い	4月は文章開催。6月以降2ヵ月に1回対面で運営推進会議を実施した。	毎回レジェメが用意されている。内容が整理されている。	2ヵ月に1回の運営推進会議を実施。レジェメを用意する。サービス内容、課題等を報告していく。

	たい。			
F. 事業所の 防災・災害対策	災害時の非常電源を検討中。補助金があれば実施予定。避難訓練を2回実施する。	3月末までに非常電源設置予定。避難訓練2回実施。令和6年能登半島地震にてケアハウスに避難する。	防災計画の存在は知っているが内容は知らない。事象所の避難訓練に参加したことはない。	マニュアルを通して模擬体験を実践しBCP（防災計画）のレベルを向上させる。